

安曇野市穂高交流学習センター運営委員会 会議概要

1	協議会名	平成22年度第1回安曇野市穂高交流学習センター運営委員会
2	日 時	平成22年5月17日 午後2時から午後4時30分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター“みらい”地域学習室
4	出席者	中島委員長、本山副委員長、江草委員、勝野委員、野中委員、丸山委員、宮田委員、山崎委員、星野委員
5	市側出席者	竹内文化課長、山田文化振興係長、高山図書館係長、細萱文化振興係主査、村上文化振興係主事、江崎
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年5月24日

協 議 事 項 等

1	会議の概要	<p>(1) 開 会 (竹内課長)</p> <p>(2) 委員の委嘱 竹内課長より星野委員に委嘱書交付。</p> <p>(3) 委員長挨拶</p> <p>(4) 事務局自己紹介</p> <p>(5) 委員紹介</p> <p>(6) 協 議</p> <p>(7) 閉 会 (竹内課長)</p>
2	協議概要	<p>(1)平成21年度事業報告について 事務局より報告</p> <p>委員・本がいたんだり、紛失していると聞いたが、どの様な対応をとっているか。</p> <p>事務局・本も弁済規定があり、弁償して頂いている。本は、備品として扱っているの、現物と同じものをお持ちいただいている。CD・DVDについては、図書館の物は上映権等が含まれている為、1本1万5千円前後で高額である。利用者が破損した場合には、高額である理由をお話して、同じCD・DVDを購入して頂き、弁償して貰っている。</p> <p>委員・委員になってから安曇野の全図書館に行ってみたが、返却した本やCDをその場で点検せず、ただ受け取っていたが、いかがなものか。</p> <p>事務局・CD・DVDに関しては、お客様に待って頂いて中を確認するよう、図書館連絡会議等で指導している。</p> <p>委員・迷惑をかけているような人がいないか、図書館の中で巡回している職員の対応が敏速でない為、せっかく来たのに帰って行く人を見かけた。利用者がゆっくり本を読める環境を作って欲しい。</p> <p>事務局・図書館利用者からの苦情は多く、係としても出来るだけの対応はしているが間に合わないのが現状。女子職員が注意すると「うるせえ。」等と心ない事を言われる事もあり、先日は新聞に利用者へのマナーについて取り上げて貰い、誰もが気持ち良く利用できる図書館となるよう、市民の皆さんのご協力も頂いて、職員も更にサービス向上に努めたい。</p> <p>委員・音響・照明としても携わっているのでホール利用者のことを述べさせて貰うが、とにかく主催者は皆さん礼儀正しく、ホールをきちんと使って気持ちよく使用されている。逆に、音響・照明スタッフがよりよいアドバイスが出来る様に、レベルアップしていかななくてはいけないと思う。</p> <p>委員長・それでは、平成22年度事業計画について、事務局から説明をして頂きたい。これから説明される事業は、実際今年度に行なう事業だということを、認識して</p>

頂きたい。

(2)平成22年度事業計画について

事務局より説明

安曇野学講座について

事務局より説明

委員長・今、事務局から説明のあった「安曇野学講座実行委員会」のことについて、少し話しをしたい。昨年「安曇野ゆかりの先人たち」というデータベースを作った訳だが、これを具体的にどう生かしていくか、どう広げていくかがこの「安曇野学講座」の根本にある。その中で、今年は「安曇野の自由と民権に生きた人々」を取り上げ、後半で「安曇野水物語」ということで、水にまつわることで活躍した先人を取り上げていく。その母体として活動するのが「安曇野学講座実行委員会」である。更にこの実行委員会が中心となって「安曇野学講座」を開き、市民と共に安曇野について学び、その成果を展示にまで発展させていきたいと思っている。これについて、何かご意見等あったら出して頂きたい。

委員・・実行委員会は、公募による12人と運営委員会から3人が加わり、15人で編成されるということで進めていくのか。

事務局・この15人に事務局が加わって、進めていきたいと考えている。

委員・・実行委員に応募した方達は、どの様な分野で活動している方達か。

事務局・様々な職種の方達に応募して頂いているが、ほとんどが郷土のことをもっと知りたいということで応募されている。

委員・・男女の比率は、どうか。

事務局・男性が10人、女性が2人で、年齢的には60代前半の方が多い。

委員・・今年は、「安曇野の自由と民権に生きた人々」と「安曇野水物語」というテーマが決まっているから、そのことに興味がある人達が応募しているが、興味のないことがテーマになった場合に辞めたり欠席する人が出てくる可能性もある。継続して続けていくということなら、熱意を持って「安曇野学講座実行委員会」を先導していく人を、運営委員会から選出したらどうか。

委員長・初めて立ち上げる実行委員会なので確かに不安もあると思うが、文化振興係には4人学芸員もいることなので、是非軸となって貰いたい。

委員・・講師の話しを聞いたり、話し合いだけではつまらないと思う。体験型ということだから、外に出て調べたりする機会を多くしたらいいのではないか。

委員長・市の企画財政課で、水質調査をしているという話しも聞く。市内に点在している団体と総合的に進めていけたら、いい成果が出るのではないかと思う。

委員・・市内には、屋敷林を調べたり、自然保護の活動をしている団体等がたくさんあり団体の中には、講師として話しが出来る人も大勢いるが、どの団体もバラバラに活動していて、個別に発表等している。安曇野学実行委員会が、この団体のまと役としての役割を果たせればいいのではないか。

委員長・時間もないことなので、この辺りで実行委員会の委員に加わって貰う3人の委員を決めたいと思うが、いかがか。

委員・・事務局に聞きたい。3人というのには、何か理由があるのか。

事務局・当初、公募による委員は7・8人を考えていたが、12人もの方々に応募頂いた。熱意ある皆さんなので全員の方に委員になって頂きたい。委員会として活動する際の人数を考えた場合、15人位が適切ではないかということで、3人の方に加わって頂きたく提案させて頂いた。

委員長・この辺りで決めたいと思う。立候補等あれば、お願いしたい。

協議の結果、運営委員会から中島委員長、山崎委員、勝野委員が「安曇野学実行委員会」の委員に加わって頂くことになる。

平成22年度事業計画について

図書館の事業計画について事務局から説明

委員・・「絵本とおはなしの会」に入っている方が減ってきていて、存続が難しくなってきたと聞いたが、図書館としては何か対策を検討しているのか。

事務局・団体登録をされていたり、個人でも各地域の図書館に登録して頂いているので、

その方達にご協力頂いている。図書館としても、団体・個人を問わず研修会等でサポートしている。

委員・・上映会で公開している映画は、誰が選んでいるのか。

事務局・図書館司書等が、上映権のある映画の中から、季節等を考慮して選んでいる。

委員長・今年度も「安曇野の自由と民権に生きた人々」の展示の際には、それと関連する本を図書館のコーナーで取り上げる等、複合施設としての良さを生かした展開を昨年同様、是非お願いしたい。それでは、ここで21年度から22年度に引継ぎたい企画として挙げられていた、「安曇野市のジオラマ地図」について提案して頂いた江草委員より、途中経過を報告して頂きたい。

江草委員より報告（内山委員欠席の為）

委員長・今年度は、予算も決まってしまうので制作までは出来ないと思うが、来年度の為にも引き続き調査等して頂きたい。それから、映像のことで山崎委員から途中経過を報告して頂きたい。

山崎委員より報告

委員長・「みらい」が情報発信の拠点ということで、安曇野市の映像をここで流せないかといういろいろ考えて頂いているが、安曇野市のDVDがあるということなので、それを実験的にエントランスで上映したらどうか。

委員・・このDVDは、年代がやはり古く17分位の放映時間なので、これを編集して短い物にするか、若しくは新しく作るにしてもコンセプトをはっきりさせないとお金もかかることなので、慎重に考えた方がいいのではないかな。

委員・・図書館の上映会のことだが、集客を延ばす為に例えば子供向けの物を上映する等工夫をしたらどうか。

事務局・広報また、市民タイムスに協力して頂き、また手作りだがチラシも作って置く等出来るだけのことはしている。内容については、検討していきたい。

委員長・今年度の事業に関しては、今日提案のあった内容で進めていくことになったが、来年度の事業に関しては、予算の決まる11月位を目途に決定していけばいいので是非、運営委員の考えと事務局の考えがうまくかみ合った事業展開が、来年度に実行できるようにしたいと思う。これで、閉会とさせて頂きたい。

以上